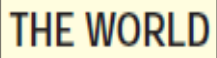


6月6日(土)

独立館D205番教室

PROFESSIONAL CAREER PROGRAMME (PCP)

第一回 説明会



Source: <http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/world.pdf>

PCP 3期生 岩間俊介 君
(在Singapore 金融機関勤務
メルボルン大学 交換留学派遣中の手記):

僕は現在、オーストラリアのメルボルンにて、
47カ国から集まった留学生が暮らす国際寮で
留学生活をしています。

留学生たちとの日々の生活を通じて、彼らの
価値観、考え方、日常生活習慣、社会通念が
徐々にわかってきました。

この留学は、
僕の視野を大きく広げてくれました。

しかしながら、日本人にとって、

言語の壁 と 文化の違いからくる行き違いは、

未だに大きな障害であるということも、
改めて実感しました。

三田会やOB訪問を通じて、
メルボルンで海外駐在員として働く日本人
ビジネスマンに20人以上会うことができた
のですが、彼らは皆、

「日本人は全員高い能力を持っているのに、
国際的なフィールドになると、その力の10%から
50%しか発揮できず、非常にもったいない。」

と話していました。

将来、国際的な競争力を持った人間として
活躍するためにも、

PCPをその第一歩にしてほしいと思います。

一人でも多くの人がこのプログラムに参加して、
自分の視野と可能性を広げてくれることを、
心より望みます。

以上、PCP3期生 岩間君 留学中の手記

PCPは、単なる英語のプログラムではなく、
帰国生のためのプログラムでもない

- 「帰国生」だから「英語ができる」？

英語にも敬語がある

英語のみでなく第二外国語も重要、
操る言葉の数が増えるほど、世界は広がる

- ずっと日本に住んでいたのに、日本を知っている？

異文化に自分を晒すほど、日本がわかる

そもそも、「自分は日本人です」と
世界に向かって言えるかどうか

英語はおろか、日本語さえできない？

1. 課長にお伝えいたします
2. まだ未定です
3. 書類をお送りしましたが、
届いていらっしゃるのでしょうか

「世界が100人の村だったら、
大学に行っているのは1人」
高等教育を受けるというのは、特別なこと

現在の自分には改善の余地があるという自覚

世界が指摘する日本の短所を自覚して改善し、
世界が認める日本の長所をきちんと受け継ぐ
ためにも、**異文化に自分を晒す**

慶應義塾大学の homepage

→ 経済学部 homepage

→ PCP の homepage

TOEFL/IELTS受験に関する注意

- 選考の受験条件は、
TOEFL iBT 79点/IELTS 6.5点 以上
- TOEFL iBT/IELTS の スコア
(コピー可)の提出期限は、
秋学期末定期試験 最終日
- TOEFL/IELTSスコアは、
必ず応募申込書と同時に提出

TOEFL/IELTS受験に関する注意

十分な余裕をもって

TOEFL/IELTS受験を予約し

受験して スコアを入手し、

必ず**応募申込書**と一緒に、

秋学期末定期試験最終日までに

日吉学生部(経済学部)に提出